2. 地下水

ボーリング柱状図を次ページ以降に示す。

岩盤ボーリング柱状図

調査名　新最終処分場施設整備事業　地質調査業務委託

事業名 または 工事名　新最終処分場施設整備事業

調査目的及び調査対象　資源備蓄・廃棄物貯蔵 構造物基礎

ボーリング名	No. 1	**調査位置**	松阪市上川町 地内	**北緯**	34° 32′ 17.85″
発注機関	松阪市　環境生活部　清掃政策課	**調査期間**	2020年 11月 25日 ～ 2020年 12月 7日	**東経**	136° 33′ 47.97″
調査業者名	株式会社　若鈴 **電話** 059-226-4101	**主任技師**	辻　美久（地質調査技士 登録番号:）	**現場代理人**	鈴木　祐市（地質調査技士 登録番号:）
コア鑑定者	鈴木　祐市（地質調査技士 登録番号:）	**ボーリング責任者**	一力　雅秀（地質調査技士 登録番号:第8961号）		
孔口標高	T.P. 38.20m	**角度**	上下 180°／90°／0°	**方位**	北0°・東90°・南180°・西270°
総削孔長	15.03m	**地盤勾配**	水平0°・鉛直90°・5°		
使用機種	**試錐機** YBM-05D	**エンジン**	NFD9-K	**ポンプ**	YBM-GP-5

標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事
32.70	5.50	砂岩・シルト岩互層	淡黄褐	w5		E	VI	d	DL	強風化岩 上部30cm位は表土で植物根が混入 コアはシルト質砂状が主体 砂粒子は微細砂が主体 所々、脆弱な短柱状コアとなる コアは指圧で容易に破砕する
30.20	8.00	砂岩	淡黄褐	w5		E	VI	d	DL	強風化岩 岩内部まで、風化が進行 コアは、シルト混り砂状が主体 砂粒子は、粒径不均一 局部的に、半固結の短柱状コアが混在する
29.70	8.50	砂岩・シルト岩互層	褐	w5		E	VI	d	DM	風化岩　褐色化が顕著 コアは、固結した砂質シルト状
28.75	9.45	砂岩・シルト岩互層	灰	w3		D	II	c	DM	風化岩　細粒砂岩 軟質な棒状コアとなる
23.85	14.35	砂岩・シルト岩互層	灰	w1		D	III	b	DH	細粒砂岩が優勢 不規則にシルト岩を挟む コアは、短柱状～棒状となる 部分的に割れ目が多い所がある 岩質は、軟岩に相当する
23.17	15.03	砂岩	灰	w1		B	I	a	CL	細粒砂岩が主体 14.85m以深は、中粒砂岩となる 棒状コアとなり、岩片硬質である

コア採取率 (%)・最大コア長 cm・RQD [%]

深度 (m)	最大コア長 (cm)	RQD [%]	コア採取率 (%)
0～1	0	[0]	(100)
1～2	0	[0]	(100)
2～3	21	[21]	(100)
3～4	23	[23]	(100)
4～5	14	[14]	(100)
5～6	7	[0]	(100)
6～7	9	[0]	(100)
7～8	0	[0]	(100)
8～9	33	[33]	(100)
9～10	8	[0]	(100)
10～11	28	[56]	(100)
11～12	28	[58]	(100)
12～13	15	[25]	(100)
13～14	8	[0]	(100)
14～15	37	[65]	(100)

標準貫入試験（深度－N値 図）

深度 (m)	N値／貫入量 (mm)	打撃回数
1.15～1.45	22/300	(7, 7, 8)
2.15～2.45	17/300	(5, 5, 7)
3.15～3.45	20/300	(5, 7, 8)
4.15～4.45	28/300	(8, 9, 11)
5.15～5.45	26/300	(7, 9, 10)
6.15～6.45	19/300	(5, 6, 8)
7.15～7.45	23/300	(6, 7, 10)
8.15～8.45	47/300	(13, 15, 19)
9.15～9.45	38/300	(7, 13, 18)
10.15～10.34	50/190	(22, 28/90)
11.00～11.21	50/210	(15, 30, 5/10)
12.00～12.28	50/280	(12, 19, 19/80)
13.00～13.20	50/200	(18, 32)
14.15～14.30	50/150	(35, 15/50)
15.00～15.03	50/30	(50/30)

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	900	86／B2	S／MC	1.0	90	0.0	W1／0	0
11/27, 11/28, 11/30	100	86／B2	D／DB	1.0	90	0.1	W2／6	6
12/1, 12/2	120	86／B2, 66／B1	D／DB	1.0	90	0.1	W2／6	6
12/3	70	66／B1	D／DB	1.0	90	0.1	W2／6	6

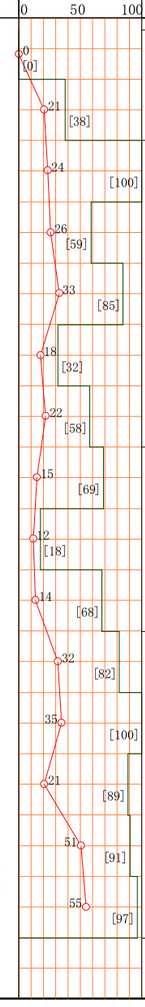
ボーリング柱状図

調　査　名	新最終処分場建設候補地　地質調査業務
事業・工事名	松阪市　新最終処分場　基本計画・基本設計業務委託

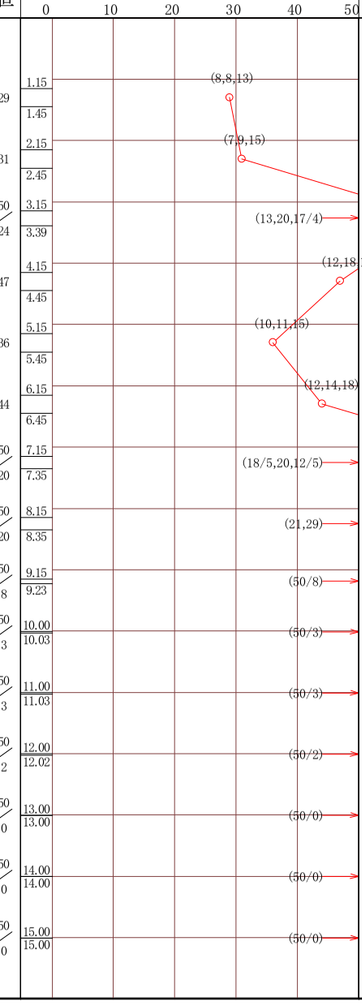
ボーリングNo　　シートNo

ボーリング名	No.2	調査位置	三重県　松阪市上川町・山添町地内			北緯	34°32'18.03"
発注機関	松阪市　環境生活部　清掃政策課			調査期間	令和 2年 10月 5日 ～ 2年 10月 9日	東経	136°33'51.78"
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話（03-6777-1654）	主任技師	西川　昌秀	現場代理人	石毛　惠子	コア鑑定者	森山　登	ボーリング責任者	佐野　友久
孔口標高	T.P. +37.17m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0° 5°	使用機種	試錐機：扶桑工業（株）KR50-HCW
総掘進長	15.00m								エンジン：ヤンマー（株）NFAD10　ポンプ：ヤンマー（株）CP40

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
	36.97	0.20		表土	茶褐						有機質土主体，GL-0.2m付近炭化物混入。	
1				強風化砂岩	茶褐～黄褐	E	V～IV	d	ε	4	風化，軟質。 細粒の砂岩。 砂状～角礫状を呈する。 部分的に黒色炭化物僅かに混入。	DL
2	35.17	2.00										
3					黄褐～茶褐	D～E	II～III	c～d	δ～ε	3～4	風化，軟質。 全体的に層理少なく概ね塊状。 GL-2.9m付近，約45°の層理。 GL-5.0m付近まで細粒の砂岩，以深下部に従い粗粒の砂岩。 棒状一部短棒状のコア主体。 亀裂面は約0～5°で若干砂状。 GL-5.7m以深，部分的に赤褐色の汚染痕あり。 部分的に黒色炭化物点在。	DM
4												
5												
6												
7	30.17	7.00		風化砂岩	茶褐	D	II～III	d	δ～ε	3	風化，やや軟質。粗粒の砂岩。棒状コア主体。部分的に赤褐色の汚染痕あり。	DH
8	29.17	8.00			暗灰～灰		III～IV	c～d	δ	2～3	弱風化，やや軟質。層理は約45°。細粒～中粒の砂岩。 GL-8.85m付近まで礫～岩片状コア主体，以深は岩片～短棒状のコア主体。 GL-8.85m付近まで亀裂は約0～5°，亀裂面は砂～角礫状。 GL-8.85m以深の亀裂は0～20°，GL-9.6m付近約60～80°の高角亀裂。亀裂面は比較的新鮮。	
9												
10	27.17	10.00										
11				砂岩	灰	C～D	I～III	b～c	α～β	1	未風化，やや軟質。層理は20～45°，一部無層理，塊状。 細粒～中粒の砂岩主体，一部シルト質～極細粒の砂岩。 棒状～一部短棒状コア。 亀裂は0～10°主体，一部45°，亀裂面は新鮮。 GL-10.8～12.0m付近，φ2～30mm程度の亜円～亜角礫混入。 GL-11.75m付近，φ40mm程度の泥岩礫混入。 GL-12.85m付近，φ30mm程度の亜角礫混入。 GL-13.2m～13.9m，シルト岩～泥岩を脈状～ブロック状に混入。	CL
12												
13												
14												
15	22.17	15.00										



孔内水位(m)／測定月日：10/8 7.09



掘進日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
10/6	600	86／ケーシング	S／MB	0	0	0	無水／0	0
	200		W／MB		200	0.05	清水／6	6
	150				180	0.04	清水／4	4
	200				200	0.03		
	171							
	200				180		清水／6	6
	133				200		清水／7	7
10/7	240		W／DB	10	220			
	171				180	0.05	清水／5	5
	200							
	171						清水／6	6
	150							
10/8								

ボーリング柱状図

調　査　名　新最終処分場建設候補地　地質調査業務

事業・工事名　松阪市　新最終処分場　基本計画・基本設計業務委託

ボーリングNo		シートNo	

ボーリング名	No.3	調査位置	三重県　松阪市上川町・山添町地内	北　緯	34°32’12.24″
発注機関	松阪市　環境生活部　清掃政策課	調査期間	令和2年10月7日 ～ 2年10月12日	東　経	136°33’51.18″
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話（03-6777-1654）	主任技師	西川　昌秀	現場代理人	石毛　惠子
コア鑑定者	森山　登	ボーリング責任者	小島　陽		
孔口標高	T.P. +40.19m	角度	180° 上 / 90° / 下 0° / 0°	方向	北 0° / 90° 東 / 180° 南 / 270° 西
地盤勾配	水平0° / 鉛直 90° / 10°	使用機種	試錐機：（株）ワイビーエム　YBM-05	エンジン	ヤンマー（株）TF-120M
ポンプ	（株）ワイビーエム　SP-40	総掘進長	20.05m		

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
39.79	0.40	表土	茶						有機質土主体。	
31.19	9.00	強風化砂岩	赤茶～茶褐～褐	E	Ⅵ～Ⅶ	d	ε	3～4	風化，軟質。細～粗粒の砂岩，一部シルト質～極細粒の砂岩。全体的に砂状～固結シルト状。風化砂岩は層理少なく概ね塊状。固結シルトは層理5～20°程度，層理面に沿って赤褐色汚染痕あり。部分的に黒色炭化物点在。	DL
27.19	13.00	風化砂岩・シルト岩互層	暗灰・灰	D～E	Ⅱ～Ⅳ	a～b	α～β	1	弱風化，やや軟質。砂岩は層理少なく概ね塊状。シルト岩は層理は0～20°程度で不規則。シルト岩と粗粒砂岩の互層。GL-10.8～11.0m付近，シルト岩中に生痕跡あり。GL-12.7～12.85m付近，白灰色の凝灰質岩狭在。	DH
22.19	18.00	砂岩	灰	C～D	Ⅰ	a	α	1	未風化，やや軟質。全体的には層理少なく概ね塊状，一部層理は0～20°程度。細粒～粗粒の砂岩。亀裂は殆ど無し。棒状コア。	CL
20.14	20.05	砂岩・シルト岩互層	暗灰・灰	C～D	Ⅰ～Ⅱ	a	α	1	未風化，やや軟質。砂岩は層理少なく塊状。シルト岩は層理0～20°程度。シルト岩と細～粗粒砂岩の互層。棒状コア。亀裂は0～20°程度で新鮮。	

コア採取率（%）／最大コア長 cm／RQD［%］

深度区間 (m)	最大コア長 (cm)	RQD [%]
0～1	0	[0]
1～2	0	[0]
2～3	0	[0]
3～4	0	[0]
4～5	0	[0]
5～6	0	[0]
6～7	33	[81]
7～8	0	[0]
8～9	0	[0]
9～10	15	[39]
10～11	30	[88]
11～12	92	[100]
12～13	54	[90]
13～14	95	[100]
14～15	96	[100]
15～16	95	[100]
16～17	95	[100]
17～18	90	[91]
18～19	96	[100]
19～20	37	[97]

孔内水位 (m)／測定月日：10/8 5.10，10/9 10.05，10/12 15.50

（ルジオン　標準貫入）試験　（P～QN値～深度）図　[]：ルジオン値　()：換算ルジオン値　《》：限界圧力

深度 (m)	N値	打撃回数
1.15～1.45	8	(3,2,3)
2.15～2.45	7	(2,3,2)
3.15～3.45	10	(3,3,4)
4.15～4.45	14	(4,4,6)
5.15～5.45	12	(4,4,4)
6.15～6.45	13	(4,4,5)
7.15～7.45	15	(4,5,6)
8.15～8.45	20	(6,6,8)
9.10～9.24	50/14	(28,22/4)
10.05～10.13	50/8	(50/8)
11.00～11.08	50/8	(50/8)
12.00～12.07	50/7	(50/7)
13.00～13.05	50/5	(50/5)
14.00～14.04	50/4	(50/4)
15.00～15.05	50/5	(50/5)
16.00～16.05	50/5	(50/5)
17.00～17.02	50/2	(50/2)
18.00～18.04	50/4	(50/4)
19.00～19.03	50/3	(50/3)
20.00～20.05	50/5	(50/5)

原位置試験（　）　室内試験（　）

掘進状況

項目	記録
掘進月日	10/7（9m），10/8（15m），10/9（20m）
掘進速度（cm/時）	200（0～1m），300（1～9m），109（9～10m），120（10～15m），300（15～17m），240（17～18m），200（18～20m）
孔径(mm)／孔壁保護	86／ケーシング
コアチューブ／ビット	S/MB（0～1m），W/MB（1～9m），W/DB（9～20m）
給圧（MPa）	10
回転数（rpm）	60（0～9m），120（9～20m）
送水圧（MPa）	0（0～1m），0.1（1～9m），0.2（9～15m），0.1（15～20m）
送水量（l／分）	無水／0，清水／15，清水／15，清水／15，清水／15，清水／15，清水／15
排水量（l／分）	0，15，13，12，10，12，10

ボーリング柱状図

調　査　名	新最終処分場建設候補地　地質調査業務
事業・工事名	松阪市　新最終処分場　基本計画・基本設計業務委託

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	No.4	調査位置	三重県　松阪市上川町・山添町地内			北緯	34°32'12.38"
発注機関	松阪市　環境生活部　清掃政策課			調査期間	令和 2年 10月 9日 ～ 2年 10月 14日	東経	136°33'53.22"
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話（03-6777-1654）	主任技師	西川　昌秀	現場代理人	石毛　惠子	コア鑑定者	森山　登	ボーリング責任者	田中　武志
孔口標高	T.P. +22.92m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機	扶桑工業（株）KR-100H
総掘進長	15.02m								エンジン	ヤンマー（株）NFD9	ポンプ	ヤンマー（株）CP40

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	N値	原位置試験	室内試験	掘進状況：掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1/分)	排水量(1/分)
	22.72	0.20	表土	淡褐						耕作土，砂混り粘土主体，粘性強位，含水中位。														
1	22.12	0.80	砂混り粘土	淡褐						全体的に砂分を少量混入，粘性強位，含水中位。					物理力学			116オープン		10	80			
2	20.62	2.30	粘土	淡褐						概ね均質。 所々砂分を少量混入。 粘性強位。 含水中位。					物理力学		1200		S/MB	0	0	0	無水/0	0
	20.07	2.85	粘土	黒灰						概ね均質な粘土，所々砂分を少量混入，粘性強位，含水中位。				現場透水試験		10/9								
3 4 5	17.67	5.25	粘土混り砂礫	暗灰						φ5～10mm程度の円～亜円礫混入。 基質は中～粗砂を主体とし，下部に従い粘土分混入量増。 GL-3.75～4.4m付近，淡灰色の風化砂岩玉石混入。 含水中位。								86/ケーシング	W/DB	40	80				
6	17.32	5.60	風化砂岩	淡灰	D	Ⅲ	b	β	2	弱風化，やや軟質。層理は0～5°程度。 極細粒～細粒の砂岩。短棒状コア。亀裂は約0°で概ね新鮮。							120							
7 8 9	12.92	10.00		灰		Ⅰ～Ⅳ	a	α	1	弱風化，やや軟質。 層理少なく，概ね塊状。 一部層理は0～10°。 中粒～粗粒の砂岩。 棒状コア主体，一部短棒状コア。 亀裂は0～10°程度で概ね新鮮。 部分的にφ10mm程度以下の泥岩礫点在。	DH					10/12	80				0.2	清水/8	8
10	12.22	10.70	砂岩	灰	C～D	Ⅰ	a	α	1	未風化，やや軟質。層理少なく，概ね塊状。中粒～粗粒の砂岩。棒状コア。							200		W/DB	10	100			
11 12 13 14 15	7.90	15.02	砂岩・シルト岩互層	灰・暗灰	C～D	Ⅰ～Ⅲ	a	α	1	未風化，やや軟質。 砂岩は層理少なく概ね塊状。 シルト岩は層理約0～20°。 細粒～中粒の砂岩とシルト岩の互層。 亀裂は0～20°程度で新鮮。	CL					10/13						0.3		

コア採取率（%）　最大コア長 cm　RQD［%］

ルジオン　標準貫入　）試験（P～QN値～深度）図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力

ボーリング柱状図

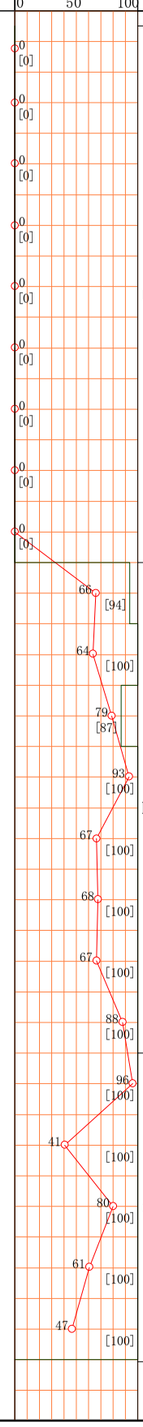
調　査　名	新最終処分場建設候補地　地質調査業務
事業・工事名	松阪市　新最終処分場　基本計画・基本設計業務委託

ボーリングNo　　シートNo

ボーリング名	No.5	調査位置	三重県　松阪市上川町・山添町地内			北緯	34°32'09.73"
発注機関	三重県　松阪市　環境生活部　清掃政策課			調査期間	令和 2年 10月 13日 ～ 2年 10月 15日	東経	136°33'52.48"
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話（03-6777-1654）	主任技師	西川　昌秀	現場代理人	石毛　惠子	コア鑑定者	森山　登	ボーリング責任者	小島　陽
孔口標高	T.P. +41.60m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0° 3°	使用機種	試錐機：（株）ワイビーエム　YBM-05
総掘進長	22.03m								エンジン：ヤンマー（株）TF-120M　ポンプ：（株）ワイビーエム　SP-40

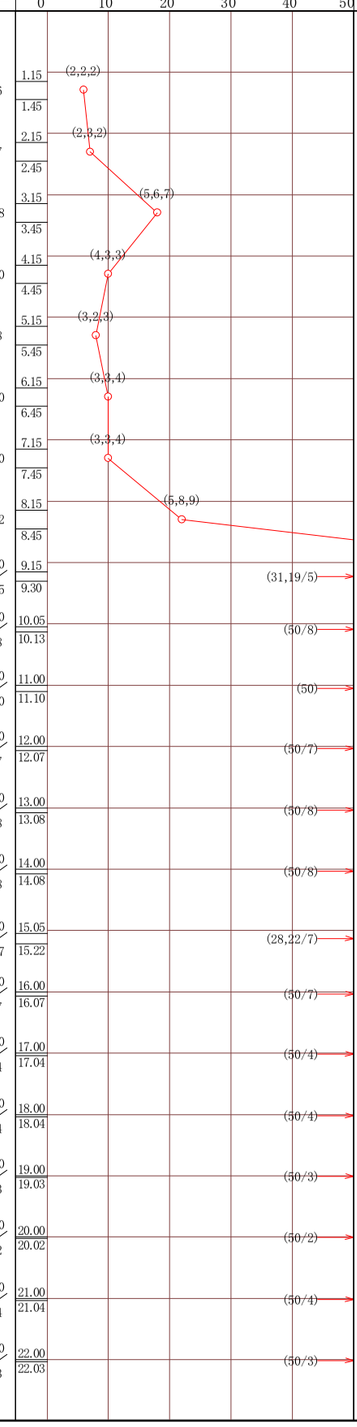
標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日
	41.35	0.25		表土	茶						シルト主体，木根混入。		
1～8	33.60	8.00		強風化砂岩	茶褐～淡褐～茶褐～淡褐	E	VI	d	ε	3～4	風化，軟質。 層理少なく概ね塊状。 砂状コア主体。 GL-1.4m付近まで粘土化を呈した赤土状。 GL-1.4～5.0m付近，風化した花崗岩質の粗粒砂岩で，φ10mm以下の礫を全体的に混入。 GL-5.0m以深，細粒～中粒の砂岩，黒色炭化物点在し，赤褐色～茶褐色を呈す汚染痕あり。一部層理は5～10°。	DL	10/14 2.10
8～9	32.60	9.00		強風化砂岩・シルト岩互層	淡褐～茶褐	E	VII	d	ε	3～4	風化，軟質。層理不明瞭，一部0～10°。 細粒砂岩と固結シルトの互層。		
9～12.50	29.10	12.50		風化砂岩・シルト岩互層	茶褐～灰・暗灰	D	I～III	a	α	1	弱風化，やや軟質。 砂岩は層理少なく概ね塊状。 シルト岩は層理5～20°。 細粒～粗粒の砂岩とシルト岩の互層。 棒状コア主体。 亀裂は少なく0～30°，亀裂面は新鮮。 部分的に黒色炭化物点在。 GL-9.6～10.2m付近，生物痕あり。	DH	10/15 10.40
12.50～13	28.75	12.85			茶褐	E	II～III	c	δ	3	風化，軟質。粗粒砂岩。風化汚染し茶褐色を呈す。黒色炭化物点在。		
13～17	24.60	17.00			灰・暗灰	D	I～III	a	α	1	弱風化，やや軟質。 砂岩は層理少なく概ね塊状。 シルト岩は層理5～20°。 細粒～粗粒の砂岩とシルト岩の互層。 棒状コア主体。 亀裂は少なく0～20°，亀裂面は新鮮。 部分的に黒色炭化物点在。		
17～20	21.40	20.20		砂岩・シルト岩互層	灰・暗灰	C～D	I～II	a	α	1	未風化，やや軟質。 砂岩は層理少なく概ね塊状。 シルト岩は層理5～20°主体，一部30°。 細粒～粗粒の砂岩とシルト岩の互層。 棒状コア主体。 亀裂は少なく約0°と30°，亀裂面は新鮮。 部分的に黒色炭化物点在。	CL	
20～22	19.57	22.03		砂岩	灰	C～D	I～II	a	α	1	未風化，やや軟質。 層理少なく概ね塊状。 中粒～粗粒の砂岩。 棒状コア。 亀裂は少なく0°～5°，亀裂面は新鮮。 GL-21.8m以深，φ50mm程度以下の泥岩礫点在。		

コア採取率（%）　最大コア長 cm　RQD［%］



（ルジオン　標準貫入　）試験

（P～QN値～深度）図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力



原位置試験（　）	室内試験（　）	掘進状況：掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
					S/MB			0	無水／0	0
			200						清水／12	12
			600							
			400							
			300	86／ケーシング				清水	清水／10	10
			400		W/MB			清水	清水／12	12
			240					0.1 清水	清水／15	15
		10/13	400				60		清水／12	12
			600							
			240							
			200					清水	清水／10	10
			300			10		清水	清水／15	15
			600					0.2	清水／15	15
			300					0.1		13
			200		W/DB			0.2		
		10/14					120	0.1		
			300						清水／15	12
			400							
			300					0.2		
			240							
		10/15								

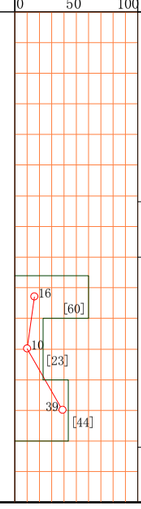
ボーリング柱状図

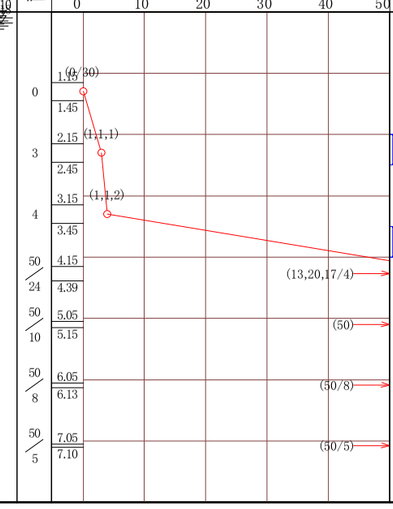
調　査　名	新最終処分場建設候補地　地質調査業務
事業・工事名	松阪市　新最終処分場　基本計画・基本設計業務委託

ボーリングNo　　シートNo

ボーリング名	No.6	調査位置	三重県　松阪市上川町・山添町地内			北緯	34°32'09.86"
発注機関	松阪市　環境生活部　清掃政策課			調査期間	令和 2年 10月 5日 ～ 2年 10月 7日	東経	136°33'55.42"
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話（03-6777-1654）	主任技師	西川　昌秀	現場代理人	石毛　惠子	コア鑑定者	森山　登	ボーリング責任者	田中　武志
孔口標高	T.P. +21.75m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機	扶桑工業（株）KR-100H
総掘進長	7.10m								エンジン	ヤンマー（株）NFD9	ポンプ	ヤンマー（株）CP40

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
	21.55	0.20		表土	暗茶褐						耕作土，砂混り粘土主体，草根混入，粘性強位，含水中位。	
1	19.85	1.90		砂混り粘土	暗灰						全体的に不規則に砂分を混入。 粘性強位，含水中位。 GL-1.75～1.95m付近，淡灰色を呈す。	
2 3	18.65	3.10		粘土混り砂礫	暗灰						φ5～10mm程度の亜角～亜円礫混入，φmax40mm程度。 基質は粘土分を混入する細～中砂を主体とする。 含水中位。	
4	17.75	4.00		強風化砂岩	灰	E	Ⅳ～Ⅴ	c～d	δ～ε	3～4	風化，軟質。層理不明瞭。細粒～中粒砂岩。砂状～短棒状コア。亀裂不明瞭で亀裂面は砂状化。	DL
5 6 7	14.65	7.10		風化砂岩	灰・暗灰	D	Ⅲ～Ⅳ	b～c	β～γ	1	弱風化，やや軟質。 中粒～粗粒砂岩を主体とし，極細粒～細粒の砂岩を狭在する。 中粒～粗粒砂岩は層理少なく概ね塊状。 極細粒～細粒砂岩は層理0～5°程度。 短棒状コア主体，一部棒状コア。 亀裂は0～10°主体，亀裂面は概ね新鮮。 GL-5.15～5.4m付近，亀裂不規則。 部分的に黒色炭化物点在。	DH





孔内水位(m)／測定月日	原位置試験（ ）	室内試験（ ）	掘進状況 掘進日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1/分)	排水量(1/分)
	1.45				116 ケーシング		10	80			
	2.15	2.15 物理	10/5	1200	86／ケーシング	S／MB	0	0	0	無水／0	0
	2.45	2.45									
	3.15	3.15 物理									
	3.45	3.45	10/6								
	4.15										
	4.39			600		W／MB	40	80			
	5.05										
	5.15										
	6.05			200		W／DB	10	100	0.2	清水／8	8
	6.13										
	7.05		10/7								
	7.10										

岩盤ボーリング柱状図

調査名	新最終処分場施設整備事業　地質調査業務委託
事業名 または 工事名	新最終処分場施設整備事業
調査目的及び調査対象	資源備蓄・廃棄物貯蔵 盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	No.7	**調査位置**	松阪市山添町　地内			**北緯**	34° 32′ 13.06″
発注機関	松阪市　環境生活部　清掃政策課			**調査期間**	2020年 11月 18日 ～ 2020年 12月 4日	**東経**	136° 33′ 46.43″
調査業者名	株式会社　若鈴 電話 059-226-4101	**主任技師**	辻　美久 地質調査技士 登録番号:	**現場代理人**	鈴木　祐市 地質調査技士 登録番号:	**コア鑑定者**	鈴木　祐市 地質調査技士 登録番号:
						ボーリング責任者	西川　友博 地質調査技士 登録番号: 第21905号
孔口標高	T.P. 20.10m	**角度**	180°（上）／90／0°（下）	**方位**	北 0°／東 90°／南 180°／西 270°	**地盤勾配**	水平 0°／鉛直 90°
総削孔長	9.00m					**使用機種**	
試錐機	YBM-05D						
エンジン	NFD9-K	**ポンプ**	YBM-GP-5				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	地質時代名	記事
1				砂混り粘土	暗灰								上部50cm位は、植物根が多量混入し、含水が多い 砂分は細砂が主体 全体に粘性が高い 1.90～2.10m間は、シルト質砂を挟む
2													
3	17.10	3.00											
	16.60	3.50		シルト質砂	灰								均一な細砂が主体 3.10～3.30m間は砂質粘土を挟む
4				砂岩	灰	w1		C	II	a	CL		細粒砂岩 棒状コアとなる コアはハンマー打撃で容易に破砕 岩質は、軟岩に相当する
5													
6													
7													
8													
9	11.10	9.00											
10													

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

深度	コア採取率	最大コア長	RQD
0.20	0	[0]	(100)
0.40	0	[0]	(100)
0.60	0	[0]	(100)
0.80	14	[34]	(100)
1.00	27	[83]	(100)
1.20	26	[26]	(97)
1.40	28	[76]	(100)
1.60	17	[29]	(100)
1.80	58	[100]	(100)

孔内水位／測定月日 1.34 -0.04

標準貫入　試験

深度	N値	原位置試験	室内試験
1.15	(1/200, 0)		
1.45			
2.15	(0/50, 1/250)		
2.45			
3.15	(2, 2, 4)	現場透水試験	
3.45			
4.00	(50/20)		
4.02			
5.00	(50/20)		
5.02			
6.00	(50/10)		
6.01			
7.00	(貫入不能)		
7.00			
8.00	(貫入不能)		
8.00			
9.00	(貫入不能)		
9.00			

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
11/19	900		S/MC	5.0	90	0.0	W1/0	0
11/21		86/B2						
11/24								
11/25	70		D/DB	7.0	90	10.0	W2/5	5
		86						
12/1								

岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　新最終処分場施設整備事業　地質調査業務委託

事業名 または 工事名　新最終処分場施設整備事業

調査目的及び調査対象　資源備蓄・廃棄物貯蔵 構造物基礎

ボーリング名	No.8	**調査位置**	松阪市山添町　地内			**北緯**	34° 32′ 10.52″
発注機関	松阪市　環境生活部　清掃政策課			**調査期間**	2020年 11月 13日 ～ 2020年 11月 24日	**東経**	136° 33′ 46.44″
調査業者名	株式会社　若鈴 電　話 059-226-4101	**主任技師**	辻　美久 地質調査技士 登録番号:	**現場代理人**	鈴木　祐市 地質調査技士 登録番号:	**コア鑑定者**	鈴木　祐市 地質調査技士 登録番号:
ボーリング責任者	高橋　敏一 地質調査技士 登録番号: 第9684号						
孔口標高	T.P. 19.34m	**角度**	180°（上）／0°（下）　90°	**方位**	北 0°　西 270°　東 90°　南 180°	**地盤勾配**	水平 0°　鉛直 90°　0°
使用機種							
試錐機	YBM-05D						
総削孔長	8.00m	**エンジン**	NFD9-K	**ポンプ**	YBM-GP-5		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	地質時代名	記事
1	17.64	1.70		砂混り粘土	暗灰								上部40cm位は、植物根が多量混入し含水が多い 砂分は細砂が主体 全体に粘性が高い
2	16.44	2.90		砂質粘土	暗灰								1.70～1.80m間は、シルト混り砂礫を挟む。礫はφ5mm以下が主体 砂分は細砂が主体　水気が多い 2.55～2.75m間は粘土質砂を挟む
3	14.79	4.55		シルト質砂	淡灰								砂粒子は均一な細中砂 φ2mm程度の細礫が点在 水気がやや多い
5	13.89	5.45		砂岩	灰	w3		D	IV	c	DH		細粒砂岩 岩片状～短柱状コアとなる 5.20～5.45m間は、中粗粒で脆弱
6	13.54	5.80		砂岩	暗灰	w3		D	IV	c			5.45～5.80m間は、泥岩を挟み亀裂が多い
7	11.34	8.00			灰	w2		C	II	a	CL		微細粒～細粒砂岩 棒状コアとなる

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

深度	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD [%]
1.70	0	[0]	(100)
2.90	0	[0]	(100)
4.55	0	[0]	(100)
5.45	11	[11]	(100)
5.80	11	[22]	(100)
8.00	38	[87]	(100)
	33	[100]	

孔内水位／測定月日 11/19

標準貫入　試験

深度	N値	備考
1.15	2/350	(1/200, 1/150)
2.15	0/400	(自沈)
3.15	10/300	(3, 3, 4)
4.15	10/300	(2, 3, 5)
5.00	50/200	(23, 27)
6.00	50/30	(50/30)
7.00	50/10	(50/10)
8.00	50/0	(貫入不能)

原位置試験：現場透水試験

削孔日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
11/17	900	86／B2	S／MC	5.0	90	0.0	W1／0	0
11/18	900			10.0	90	0.0	W1／0	0
11/19	120		D／DB	8.0	100	0.2	W2／2	2
11/21	100	66		8.0	120	0.2	W2／2	2
11/24								

ボーリング柱状図

調査名	新最終処分場建設候補地 地質調査業務	ボーリングNo	
事業・工事名	松阪市 新最終処分場 基本計画・基本設計業務委託	シートNo	

ボーリング名	No.A	調査位置	三重県 松阪市上川町・山添町地内			北緯	34°32’19.80″
発注機関	松阪市 環境生活部 清掃政策課			調査期間	令和2年10月9日 〜 2年10月16日	東経	136°33’48.25″
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話（03-6777-1654）	主任技師	西川 昌秀	現場代理人	石毛 恵子 / コア鑑定者 森山 登	ボーリング責任者	佐野 友久
孔口標高	T.P. +25.79m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°
総掘進長	14.02m			使用機種	試錐機 扶桑工業（株）KR50-HCW / エンジン ヤンマー（株）NFAD10 / ポンプ ヤンマー（株）CP40		

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
23.99	1.80	砂混り粘土	暗灰〜黒						全体的に有機質な粘性土主体，含水若干大位，粘性中位。不規則に細礫混入，φmax30mm程度の亜円礫混入。	
23.79	2.00	砂礫	淡灰						φ2〜40mm程度の亜円礫混入，基質は細砂，含水中位。	
22.34	3.45	風化砂岩・シルト岩互層	灰〜暗灰	D〜E	Ⅲ〜Ⅳ	b	γ〜δ	1〜2	弱風化，やや軟質。細粒砂岩とシルト岩の互層。層理は0〜10°，短棒状コア主体，一部角礫状。亀裂は0〜30°主体で一部60°高角，不規則に多数発達。	DH
20.89	4.90	風化砂岩・シルト岩互層	灰・暗灰	D〜E	Ⅲ〜Ⅳ	b〜c	γ〜δ	1〜2	弱風化，やや軟質。層理0〜60°で非常に不規則で全体的には塊状。花崗岩質の砂岩。GL-4.5m付近，層厚約5cmの黒色亜炭狭在。	DH
20.29	5.50	風化砂岩・シルト岩互層	黒	E	Ⅴ	d	γ〜δ	1〜2	風化，軟質。黒色の亜炭層。亀裂多数，細礫〜角礫状を呈す。	DM
18.34	7.45	風化砂岩・シルト岩互層	灰・暗灰・黒	D〜E	Ⅱ〜Ⅲ	b〜c	γ〜δ	1〜2	弱風化，やや軟質。全体的には塊状で，一部層理は5〜60°と非常に不規則。花崗岩質の砂岩を主体とし，薄層及び脈状にシルト岩を混入し不均質。棒状〜短棒状コアを主体とし，一部岩片状。	DH
16.79	9.00	風化砂岩・シルト岩互層	灰・暗灰・黒	D〜E	Ⅲ〜Ⅴ	b〜d	γ〜δ	1〜2	風化，軟質。黒色の亜炭を主体とし，花崗岩質の砂岩混入し不均質。亜炭は亀裂多数発達し，細礫〜角礫状。花崗岩質の砂岩は岩片〜短棒状コア。	DM
11.77	14.02	砂岩・シルト岩互層	黒・灰・暗灰	C〜D	Ⅱ〜Ⅲ	a〜c	β〜γ	1〜2	弱風化，やや軟質。花崗岩質の砂岩とシルト岩の互層で非常に不均質。花崗岩質の砂岩は層理不明瞭で概ね塊状。シルト岩の層理は約60°程度と高角。亀裂は30〜70°主体とし，不規則に多数発達。亀裂面は概ね新鮮で，一部若干細礫状。	CL

コア採取率（%）／最大コア長 cm ／ RQD [%]

最大コア長 (cm)	RQD [%]
0	[0]
10	[12]
18	[62]
11	[20]
50	[73]
28	[35]
17	[18]
22	[34]
20	[54]
24	[59]
39	[68]
17	[64]

孔内水位(m)／測定月日: 10/13 0.04

（ルジオン 標準貫入 ）試験 （P〜QN値〜深度）図
[]：ルジオン値
()：換算ルジオン値
《》：限界圧力

深度 (m)	N値	打撃回数
1.15〜1.45	3	(1,1,1)
2.15〜2.40	50/25	(16,21,13/5)
3.15〜3.20	50/5	(50/5)
4.15〜4.19	50/4	(50/4)
5.15〜5.45	31	(7,10,14)
6.00〜6.05	50/5	(50/5)
7.15〜7.22	50/7	(50/7)
8.00〜8.10	50/10	(50)
9.00〜9.05	50/5	(50/5)
10.00〜10.05	50/5	(50/5)
11.00〜11.03	50/3	(50/3)
12.00〜12.02	50/2	(50/2)
13.00〜13.04	50/4	(50/4)
14.00〜14.02	50/2	(50/2)

原位置試験: 現場透水試験

室内試験: 1.15〜1.45 物理 / 1.80〜2.00 物理

掘進状況

項目	記録
掘進月日	10/12, 10/13, 10/14
掘進速度 (cm/時)	600, 150, 120, 100, 240, 171, 150, 171, 200
孔径 (mm)／孔壁保護	100／ケーシング, 86／ケーシング
コアチューブ／ビット	S/MB, W/DB
給圧 (MPa)	0, 10
回転数 (rpm)	0, 180, 200, 180, 230, 260
送水圧 (MPa)	0, 0.05, 0.1, 0.06, 0.05, 0.03
送水量 (l／分)	無水／0, 清水／6, 清水／5, 清水／6, 清水／5
排水量 (l／分)	0, 6, 5, 6, 5

ボーリング柱状図

調査名	新最終処分場建設候補地 地質調査業務
事業・工事名	松阪市 新最終処分場 基本計画・基本設計業務委託

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	No.B	調査位置	三重県 松阪市上川町・山添町地内			北緯	34° 32’ 14.85″
発注機関	松阪市 環境生活部 清掃政策課			調査期間	令和 2年 10月 5日 ～ 2年 10月 15日	東経	136° 33’ 50.17″
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話(03-6777-1654)	主任技師	西川 昌秀	現場代理人	石毛 惠子 / コア鑑定者 森山 登	ボーリング責任者	田中 秀孝
孔口標高	T.P. +40.69m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 / 地盤勾配 鉛直 90° 水平0° 5°	試錐機	扶桑工業(株)KR-100H
総掘進長	30.00m			使用機種	エンジン ヤンマー(株)NFD9	ポンプ	安田工業(株)TA-800

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
39.79	0.90	表土	暗褐～褐						有機質土主体。草根混入。	
30.69	10.00	強風化砂岩	黄褐～褐灰～茶褐	E	Ⅵ～Ⅶ	d	δ～ε	3	風化，軟質。細粒～粗粒の砂岩を主体とし，部分的に層厚数十センチの極細粒の砂岩～シルト岩を挟在。層理不明瞭で概ね塊状。全体的には砂状のコア。部分的に10～30°，層厚数センチの薄層状で赤褐色の汚染痕あり。黒色炭化物点在。GL-1.0m付近まで，赤褐色を呈すシルト質砂の赤土。	DL / DM
26.69	14.00	風化砂岩	茶褐・暗灰	D～E	Ⅲ～Ⅳ	b～c	γ～δ	1～2	弱風化，やや軟質。極細粒～細粒の砂岩。層理不明瞭で概ね塊状。棒状一部短棒状コアを主体とし，部分的に砂状～岩片状コア。亀裂は5～30°程度，亀裂面は一部砂状～角礫状で概ね新鮮。GL-13.6～-13.9m付近，砂状～岩片状コア主体。黒色炭化物僅かに点在。	DH
25.69	15.00	風化砂岩・シルト岩互層	暗灰・黒灰	D	Ⅲ～Ⅳ	b～c	γ～δ	1～2	弱風化，やや軟質。細粒～粗粒の砂岩とシルト岩の互層。層理不明瞭。角礫状～短棒状コア。黒色炭化物点在。	DH
22.69	18.00	砂岩・シルト岩互層	暗灰・黒灰	C～D	Ⅱ～Ⅲ	a～b	α～β	1～2	未風化，やや軟質。細粒～中粒の砂岩とシルト岩の互層。砂岩は層理不明瞭で概ね塊状。シルト岩は層理5～20°。棒状一部短棒状コア。亀裂は概ね5～20°，GL-15.45m付近45°の高角亀裂。部分的に黒色炭化物点在。	CL
20.39	20.30	砂岩	灰	C	Ⅰ～Ⅲ	a	α	1	未風化，やや軟質。中粒～粗粒の砂岩。層理は一部で0～10°程度，概ね塊状。棒状一部短棒状コア。亀裂は0～20°で亀裂面は比較的新鮮。	CL
		砂岩・シルト岩	灰・暗灰・	C	Ⅰ～Ⅲ	a～b	α	1	未風化，やや軟質。細粒～粗粒の砂岩とシルト岩の互層で層相変化著しい。下部に従い粗粒の砂岩優勢。砂岩は一部0～5°程度の層理で概ね塊状。シルト岩は0～10°の層理主体。GL-27.55m付近シルト岩と砂岩の層理約30°。	CL

コア採取率(%) / 最大コア長 cm / RQD [%]

深度 (m)	最大コア長	RQD
1	0	[0]
1.5	0	[0]
2.5	0	[0]
3.5	0	[0]
4.5	0	[0]
5.5	0	[0]
6–7	47	[85]
7–8	26	[47]
8–9	22	[65]
9–10	14	[47]
10–11	34	[88]
11–12	23	[50]
12–13	23	[66]
13–14	16	[19]
14–15	11	[13]
15–16	14	[28]
16–17	51	[94]
17–18	41	[89]
18–19	56	[85]
19–20	28	[76]
20–21	48	[84]
21–22	23	[79]
22–23	61	[88]
23–24	35	[100]
24–25	60	[99]
25–	45	[100]

孔内水位(m)／測定月日: 10/14 7.05; 10/12 9.25, 10/13 9.60 他; 10/15 12.20

(ルジオン 標準貫入)試験 (P～QN値～深度)図 []：ルジオン値 ()：換算ルジオン値 《》：限界圧力

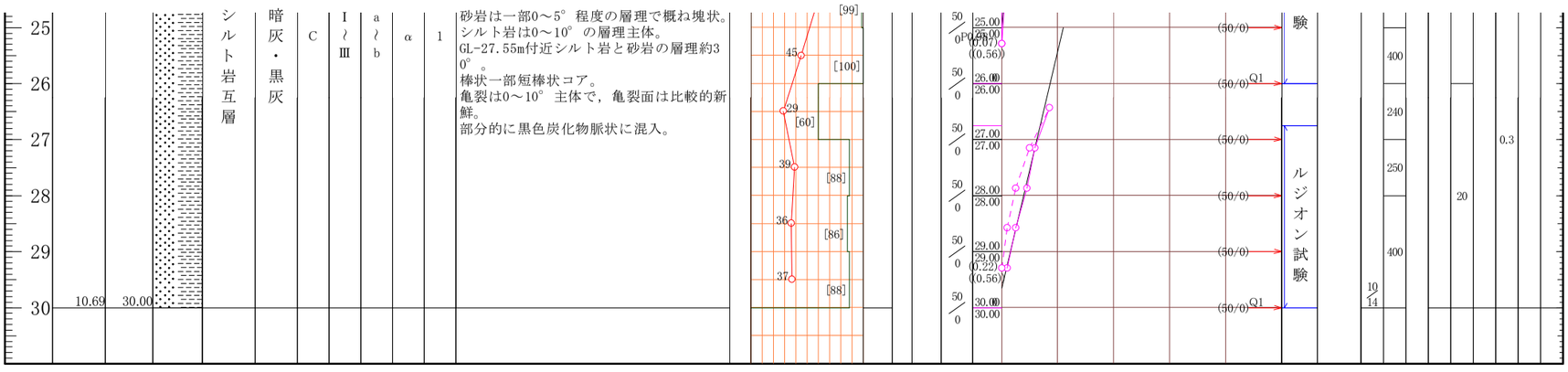
深度 (m)	N値	打撃回数
1.15–1.45	2	(1/15,1/15)
2.15–2.45	4	(1,2,1)
3.15–3.45	5	(2,1,2)
4.15–4.45	13	(4,4,5)
5.15–5.45	12	(3,4,5)
6.15–6.45	14	(4,5,5)
7.15–7.45	18	(4,6,8)
8.15–8.45	29	(6,10,13)
9.15–9.45	42	(10,14,18)
10.15–10.41	50/26	(14,20,16/6)
11.10–11.31	50/21	(22,26,2/1)
12.10–12.23	50/13	(37,13/3)
13.05–13.18	50/13	(38,12/3)
14.05–14.16	50/11	(40,10/1)
15.05–15.10	50/5	(50/5)
16.05–16.09	50/4	(50/4)
17.00–17.03	50/3	(50/3)
18.00–18.01	50/1	(50/1)
19.00–19.01	50/1	(50/1)
20.00–20.03	50/3	(50/3)
21.00–21.03	50/3	(50/3)
22.00	50/0	(50/0)
23.00	50/0	(50/0)
24.00	50/0	(50/0)
25.00	50/0	(50/0)

ルジオン試験: 約12～16m（P0.98, (0.30), Q1）, 約16.5～21m（(0.61), (0.40), Q1）, 約22m以深（(0.07), (0.56)）

原位置試験: ルジオン試験

掘進状況

月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
	600		S/MB	20	100	0	無水/0	0
	1500			0	0			
	1200							
10/6	375, 500	86/ケーシング		20	100	0.1		
	545			30		0.2		
	461, 166			40				
10/7	200, 240			10				
10/8	200							
	240, 300, 600		W/MB	20	120	0.1	清水/10	10
10/13	375, 300, 400, 461, 400			10		0.2		


25
26
27
28
29
30
10.69
30.00
シルト岩互層
暗灰・黒灰
C
Ⅰ～Ⅲ
a～b
α
1
砂岩は一部0～5°程度の層理で概ね塊状。
シルト岩は0～10°の層理主体。
GL-27.55m付近シルト岩と砂岩の層理約30°。
棒状一部短棒状コア。
亀裂は0～10°主体で，亀裂面は比較的新鮮。
部分的に黒色炭化物脈状に混入。
[99]
45
[100]
29
[60]
39
[88]
36
[86]
37
[88]
25.00
26.00
27.00
28.00
29.00
30.00
(50/0)
Q1
験
ルジオン試験
400
240
250
400
10/14
20
0.3

ボーリング柱状図

調　査　名　新最終処分場建設候補地　地質調査業務

事業・工事名　松阪市　新最終処分場　基本計画・基本設計業務委託

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	No.C	調査位置	三重県　松阪市上川町・山添町地内	北緯	34°32’14.93″
発注機関	松阪市　環境生活部　清掃政策課	調査期間	令和 2年 10月 15日 ～ 2年 10月 23日	東経	136°33’54.85″
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話（03-6777-1654）	主任技師 西川　昌秀	現場代理人 石毛　恵子 / コア鑑定者 森山　登	ボーリング責任者	田中　秀孝
孔口標高	T.P. +43.79m	角度 上180°　下0°　90°	方向 北0°　東90°　南180°　西270°	地盤勾配 鉛直90°　水平0°　5°	試錐機 扶桑工業（株）KR-100H
総掘進長	33.00m			使用機種 エンジン ヤンマー（株）NFD9	ポンプ 安田工業（株）TA-800

標高 (m)	深度 (m)	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
43.19	0.60	表土	褐						有機質土主体，草根混入。
37.79	6.00	強風化礫岩	褐～暗褐	E	Ⅵ	d	ε	3～4	風化，軟質。GL-2.6～2.9m付近に狭在するシルト岩～極細粒砂岩の層理は約0～5°。礫岩は層理不明瞭で，塊状。砂状～礫状コア。φ10mm以下の亜角礫～円礫を多量混入し，基質はシルト混りの砂。φmax40mm程度。全体的に風化汚染し色調変化著しい。
34.54	9.25	風化礫岩	暗灰	D～E	Ⅴ	d	δ	3～4	弱風化，やや軟質。φ10mm以下の亜角礫～円礫多量混入し，基質はシルト混りの砂。φmax60mm程度。層理不明瞭，塊状。角礫状～短棒状コア。亀裂は不明瞭。
30.79	13.00	風化砂岩・礫岩互層	暗灰・灰	D～E	Ⅲ～Ⅴ	a～d	β～δ	1～3	弱風化，やや軟質。細粒～粗粒の砂岩と礫岩との互層。礫岩はφ20mm以下の円礫～亜角礫を多量に混入し，円礫～亜円礫が優勢。礫種は泥岩礫。φmax50mm程度，基質はシルト混りの砂。層理は砂岩の一部で約30°，礫岩は不明瞭。短棒状～礫状コア。亀裂は砂岩で約20～45°，亀裂面は新鮮。礫岩の亀裂は不明瞭。
29.64	14.15	砂岩	灰	C～D	Ⅲ～Ⅳ	a～b	α～β	1～2	弱風化～未風化，やや軟質。細粒の砂岩。層理は一部で約30°。岩片状～短棒状コア。亀裂は20～30°，亀裂面は一部角礫～岩片状。一部黒色炭化物点在。
27.99	15.80	砂岩・礫岩互層	灰・暗灰	C～D	Ⅲ～Ⅳ	a～d	α～β	1～2	弱風化～未風化，やや軟質。細粒の砂岩と礫岩の互層。短棒状コア，一部角礫，岩片状コア。礫岩はφ10mm以下の亜円～円礫主体，亜角礫の泥岩礫混入。層理は20～40°，一部層理沿いに亀裂発達し亀裂面は砂状～角礫状，岩片状。
26.49	17.30	砂岩	灰	C～D	Ⅲ～Ⅳ	a～b	α～β	1	未風化，やや軟質。細粒の砂岩。棒状一部短棒状コア。層理不明瞭で概ね塊状。一部GL-15.9m付近で約60°の層理と亀裂発達，亀裂面は新鮮。亀裂は5～25°で亀裂面は概ね新鮮。一部GL-16.95m付近に約80°の高角亀裂，亀裂面は鏡肌状を呈す。
25.29	18.50	砂岩・礫岩互層	灰・暗灰	C～D	Ⅳ～Ⅴ	a～d	α～β	1	未風化，やや軟質。細粒砂岩と礫岩の互層。短棒状コア一部角礫～岩片状コア。礫岩はφ10mm以下の亜円～円礫主体，亜角礫若干混入，泥岩礫主体，基質は砂。層理は不明瞭。亀裂は0～60°，亀裂面は概ね新鮮，一部角礫～岩片状
19.04	24.75	砂岩	灰	C～D	Ⅱ～Ⅲ	a～b	α～β	1	未風化，やや軟質。細粒の砂岩。棒状一部短棒状～岩片状コア。全体的に層理は不明瞭で概ね塊状。一部GL-19.15m付近，約60°の層理。亀裂は5°～45°主体，一部GL-21.85～GL-23.4m，約60°の高角亀裂点在。亀裂面は若干変質，一部角礫～岩片状。
		砂岩・	灰	C	Ⅲ				弱風化～未風化，やや軟質。細粒砂岩と礫岩の互層。礫岩はφ20mm以下の亜円礫主体，亜角礫

岩級区分: DL（0.60～5.15）、DM（5.15～6.00）、DH（6.00～13.00）、CL（13.00～）

孔内水位(m)／測定月日: 10/22 1.20、10/21 2.60、10/20 3.70、10/19 4.10

コア採取率（%）・最大コア長 cm・RQD [%]（深度順）: 0[0]、0[0]、0[0]、0[0]、0[0]、0[0]、0[0]、0[0]、0[0]、20[40]、0[0]、17[61]、0[0]、18[46]、11[22]、26[53]、36[83]、11[22]、15[32]、14[26]、31[80]、22[42]、26[56]、25[60]、18[52]、7[0]

（ルジオン　標準貫入　）試験

（P～QN値～深度）図　[]：ルジオン値　()：換算ルジオン値　《》：限界圧力

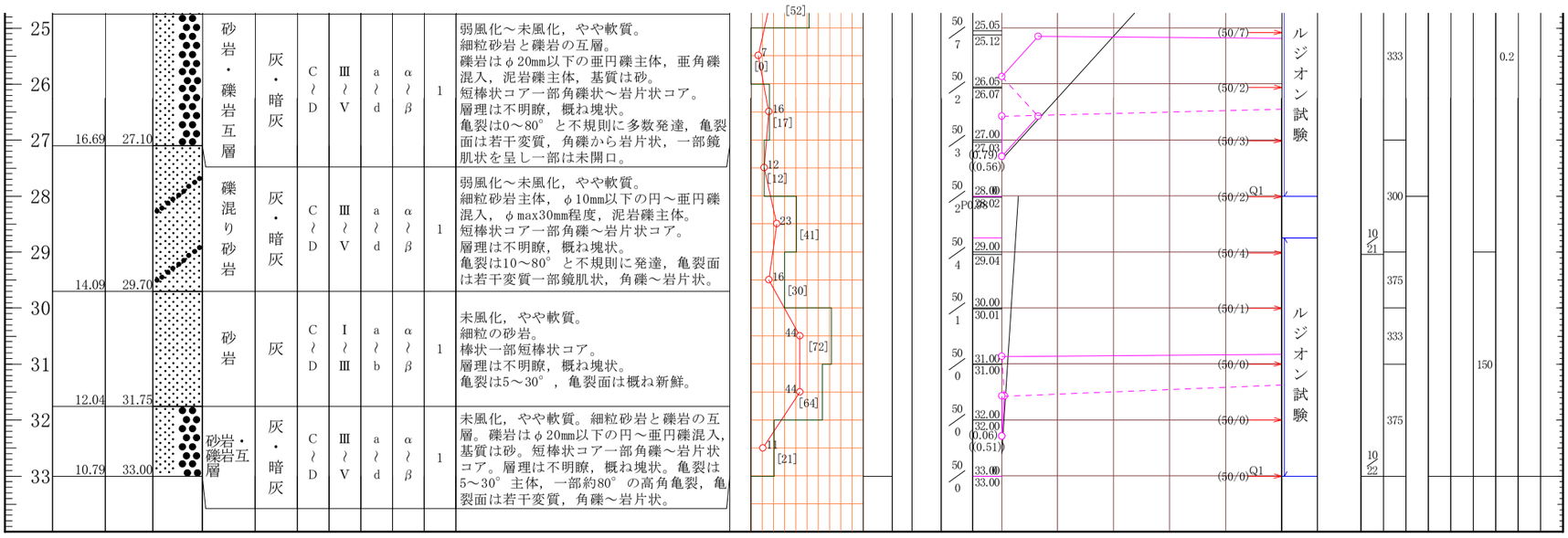
深度 (m)	N値	打撃回数
1.15～1.45	23	(7,8,8)
2.15～2.45	28	(8,9,11)
3.15～3.45	35	(10,12,13)
4.15～4.45	29	(6,10,13)
5.15～5.45	38	(8,9,21)
6.15～6.29	50/14	(38,12/4)
7.15～7.37	50/22	(20,24,6/2)
8.15～8.32	50/17	(28,22/7)
9.10～9.20	50/10	(50)
10.15～10.27	50/12	(42,8/2)
11.15～11.28	50/13	(40,10/3)
12.15～12.27	50/12	(43,7/2)
13.05～13.10	50/5	(50/5)
14.05～14.08	50/3	(50/3)
15.05～15.11	50/6	(50/6)
16.00～16.04	50/4	(50/4)
17.00～17.05	50/5	(50/5)
18.05～18.08	50/3	(50/3)
19.00～19.03	50/3	(50/3)
20.00～20.03	50/3	(50/3)
21.10～21.23	50/13	(38,12/3)
22.00～22.02	50/2	(50/2)
23.00～23.03	50/3	(50/3)
24.00～24.03	50/3	(50/3)
25.05～25.12	50/7	(50/7)

原位置試験: ルジオン試験（約14～18m、約19～23m、約24m～）　Q1、P0.98、P0.88、(0.26)、((0.40))、(0.01)、((0.42))

室内試験（　）

掘進状況

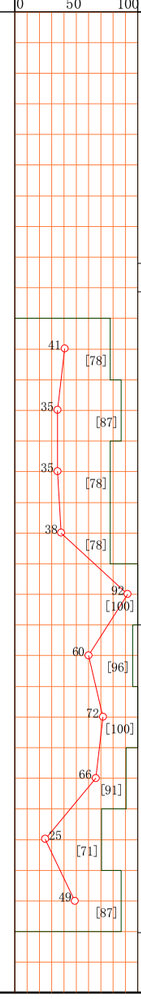
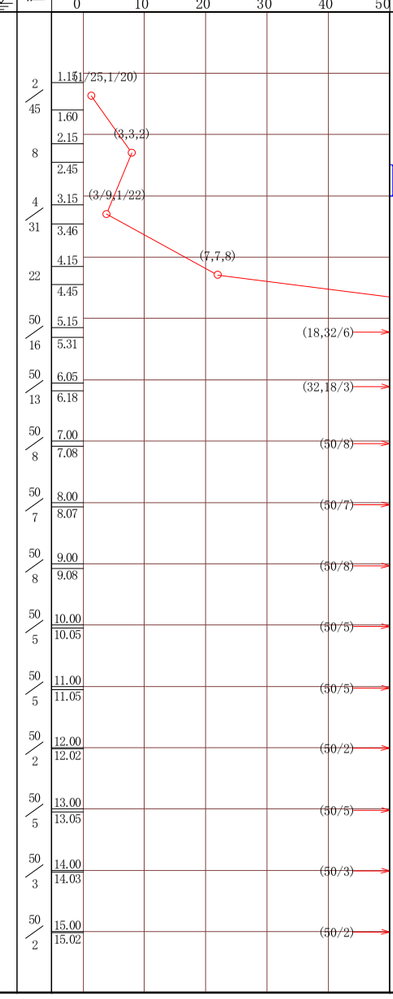
項目	値
掘進月日	10/16（～6m）、10/17（～11m）、10/19（～18m）、10/20（～23m）
掘進速度（cm/時）	857、206、428、375、461、375、333、375、352、375、75、428、206、225、60、266、240、333、500、333、300、333
孔径(mm)／孔壁保護	86／ケーシング
コアチューブ／ビット	S/MB、W/MB、WDB、W/MB、W/DB
給圧（MPa）	0、20、30、40、20、40、20
回転数（rpm）	0、100、120、100、120
送水圧（MPa）	0、0.1、0.2
送水量（l/分）	無水/0、清水/10
排水量（l/分）	0、10


25
26
27
28
29
30
31
32
33
16.69
27.10
14.09
29.70
12.04
31.75
10.79
33.00
砂岩・礫岩互層
灰・暗灰
C～D
Ⅲ～Ⅴ
a～d
α～β
1
弱風化～未風化，やや軟質。
細粒砂岩と礫岩の互層。
礫岩はφ20mm以下の亜円礫主体，亜角礫混入，泥岩礫主体，基質は砂。
短棒状コア一部角礫状～岩片状コア。
層理は不明瞭，概ね塊状。
亀裂は0～80°と不規則に多数発達，亀裂面は若干変質，角礫から岩片状，一部鏡肌状を呈し一部は未開口。
礫混り砂岩
灰・暗灰
C～D
Ⅲ～Ⅴ
a～d
α～β
1
弱風化～未風化，やや軟質。
細粒砂岩主体，φ10mm以下の円～亜円礫混入，φmax30mm程度，泥岩礫主体。
短棒状コア一部角礫～岩片状コア。
層理は不明瞭，概ね塊状。
亀裂は10～80°と不規則に発達，亀裂面は若干変質一部鏡肌状，角礫～岩片状。
砂岩
灰
C～D
Ⅰ～Ⅲ
a～b
α～β
1
未風化，やや軟質。
細粒の砂岩。
棒状一部短棒状コア。
層理は不明瞭，概ね塊状。
亀裂は5～30°，亀裂面は概ね新鮮。
砂岩・礫岩互層
灰・暗灰
C～D
Ⅲ～Ⅴ
a～d
α～β
1
未風化，やや軟質。細粒砂岩と礫岩の互層。礫岩はφ20mm以下の円～亜円礫混入，基質は砂。短棒状コア一部角礫～岩片状コア。層理は不明瞭，概ね塊状。亀裂は5～30°主体，一部約80°の高角亀裂，亀裂面は若干変質，角礫～岩片状。
[52]
7
[0]
16
[17]
12
[12]
23
[41]
16
[30]
44
[72]
44
[64]
11
[21]
25.05
25.12
26.05
26.07
27.00
27.03
(0.79)
(0.56)
28.00
28.02
29.00
29.04
30.00
30.01
31.00
31.00
32.00
32.00
(0.06)
(0.51)
33.00
33.00
(50/7)
(50/2)
(50/3)
(50/2)
(50/4)
(50/1)
(50/0)
(50/0)
(50/0)
Q1
Q1
ルジオン試験
ルジオン試験
333
300
375
333
375
0.2
150

ボーリング柱状図

調　査　名	新最終処分場建設候補地　地質調査業務
事業・工事名	松阪市　新最終処分場　基本計画・基本設計業務委託

ボーリングNo　　シートNo

ボーリング名	No.D	調査位置	三重県　松阪市上川町・山添町地内			北緯	34°32'08.22"
発注機関	松阪市　環境生活部　清掃政策課			調査期間	令和 2年 10月 16日 ～ 2年 10月 21日	東経	136°33'54.57"
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話（03-6777-1654）	主任技師	西川　昌秀	現場代理人	石毛　惠子	コア鑑定者	森山　登	ボーリング責任者	小島　陽
孔口標高	T.P. +21.18m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 28°	使用機種	試錐機	（株）ワイビーエム　YBM-05
総掘進長	15.02m								エンジン	ヤンマー（株）TF-120M	ポンプ	（株）ワイビーエム　SP-40

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定日	N値	原位置試験	室内試験	掘進日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
	20.78	0.40		表土	茶						シルト混り砂主体，草根混入。														
1				シルト	灰						全体的に砂分混入し，φ2mm以下の細礫点在。 GL-1.8m以深淡灰色を呈す。 粘性強位，含水中位。														
2	19.08	2.10																							
3				砂礫	暗灰						φ10mm以下の亜円礫主体，φmax50mm程度，基質はシルト混り砂。 含水中位。														
4	17.08	4.10																							
	16.61	4.57		強風化砂岩	茶褐	E	Ⅳ	d	ε	3	風化，軟質。細粒～中粒の砂岩。砂状。 層理不明瞭。茶褐色に風化。	DL													
5				風化砂岩・シルト岩互層	暗灰	D	Ⅱ～Ⅲ	a～b	α	1	弱風化，やや軟質。 細粒～中粒の砂岩とシルト岩の互層。 棒状一部短棒状コア。 砂岩の層理は不明瞭。 シルト岩の層理は5～10°。 亀裂は5～10°，一部55°，亀裂面は概ね新鮮，一部角礫～岩片状。 黒色炭化物僅かに点在。	DH													
6																									
7																									
8	13.18	8.00																							
				風化砂岩	暗灰	D	Ⅱ～Ⅲ	a	α	1	弱風化，やや軟質。 細粒～粗粒の砂岩，下部に従い粗粒化。 棒状一部短棒状コア。 一部で層理は0～5°，全体的には層理不明瞭で概ね塊状。 亀裂は0～10°，一部約70°，亀裂面は概ね新鮮。														
9																									
10	11.18	10.00																							
11				砂岩	灰	C～D	Ⅰ～Ⅱ	a	α	1	未風化，やや軟質。 中粒～粗粒の砂岩。 棒状コア。 一部で層理は0～5°，全体的には概ね層理不明瞭で塊状。 亀裂は0～5°，一部約70°，亀裂面は概ね新鮮。 下部に従いφ20mm以下の亜角礫点在，φmax50mm程度。	CL													
12																									
13	8.18	13.00																							
14				砂岩・シルト岩互層	暗灰	C～D	Ⅰ～Ⅲ	a	α	1	未風化，やや軟質。 細粒砂岩とシルト岩の互層。 棒状一部短棒状コア。 層理は5～10°。 亀裂は0～20°，亀裂面は概ね新鮮。 黒色炭化物僅かに点在。														
15	6.16	15.02